

日本海南東部（仮称）の 海域活断層の長期評価に関する資料

令和5年10月27日（金）

第24回海域活断層評価手法等検討分科会

本日の審議の流れ

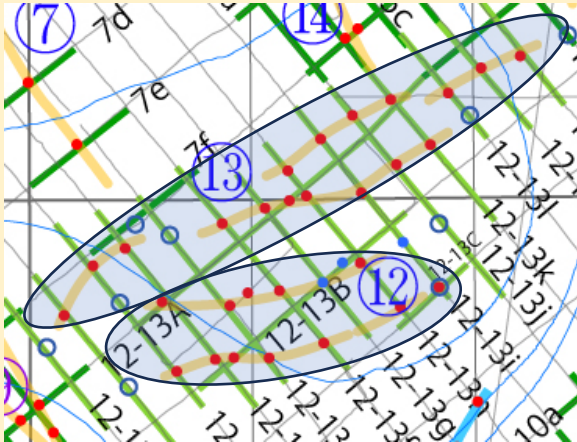
1. 「断層」「断層帯」「断層群」という用語の使い分けについて
2. ずれの種類の表記について
3. 評価対象断層の垂直変位量の読み取り結果
4. 個別の断層の評価に関する審議
 - 評価対象断層の傾斜の向きと角度について

1. 「断層」「断層帯」「断層群」という用語の 使い分けについて

- 「活断層の長期評価手法」（暫定版）によると、**起震断層が複数単位区間を含む場合は、「〇〇断層帯」、単一の単位区間で構成される場合は「〇〇断層」とするとされている。**
- ただし、陸域の活断層では、単位区間が複数の断層で構成されていれば「断層帯」という名称を使っている場合がある。
- **日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）**では、原則に従い、以下のようになっている。
 - 起震断層が複数の単位区間を含む場合は、「〇〇断層帯」
 - 単一の単位区間で構成される場合は「〇〇断層」
 - 短い断層は一律に「〇〇断層」
- 「断層群」という用語は最近は使っていない。

1. 「断層」 「断層帯」 「断層群」という用語の 使い分けについて

ex. ★断層12、13 以下の案が考えられる。

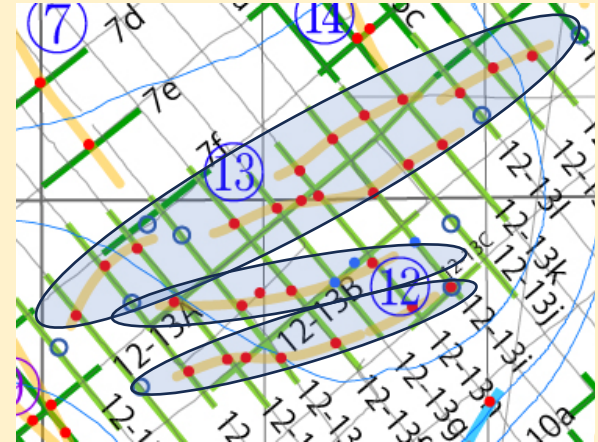


・ 案1

1. 越前岬西方沖**北**断層【長い断層（北）】
2. 越前岬西方沖**南**断層【短い断層（中+南）】

一方、

- ・ 長い断層に「帯」を付ける案
- ・ 短い断層でも複数であれば「帯」を付ける案も考えられる

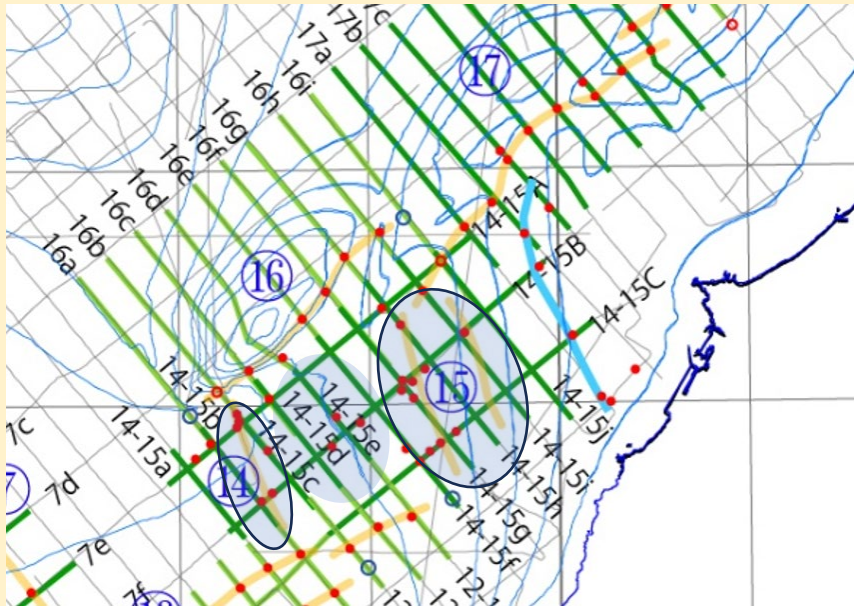


・ 案2

1. 越前岬西方沖**北**断層【長い断層（北）】
2. 越前岬西方沖**中**断層【短い断層（中）】
3. 越前岬西方沖**南**断層【短い断層（南）】

1. 「断層」「断層帯」「断層群」という用語の 使い分けについて

ex. ★断層14、15



断層15は 原則に従うとトレースは2本であるが、短い断層なので、「帯」をつけない。

- 一方、複数の断層で構成されていることから「帯」を付けることも考えられなくはない。
- また、この地域は、記載されているトレース以外にも断層が存在する可能性があることから「群」という名称を使うことも考えられる。

論点 「断層」「断層帯」「断層群」という用語の使い分けは、これまでに審議済の断層及びこれから審議する断層においても同様な議論が必要なものがある可能性があるため、**最後にまとめて議論することとしたい**が、よろしいか。

2. ずれの種類を表記について

審議用の特性表案について、

- ⑤経ヶ岬沖：北西側隆起の逆断層（右横ずれ成分を伴う）
- ⑬越前岬西方沖北：北側隆起の逆断層（右横ずれ成分を伴う）

という表記に修正した。

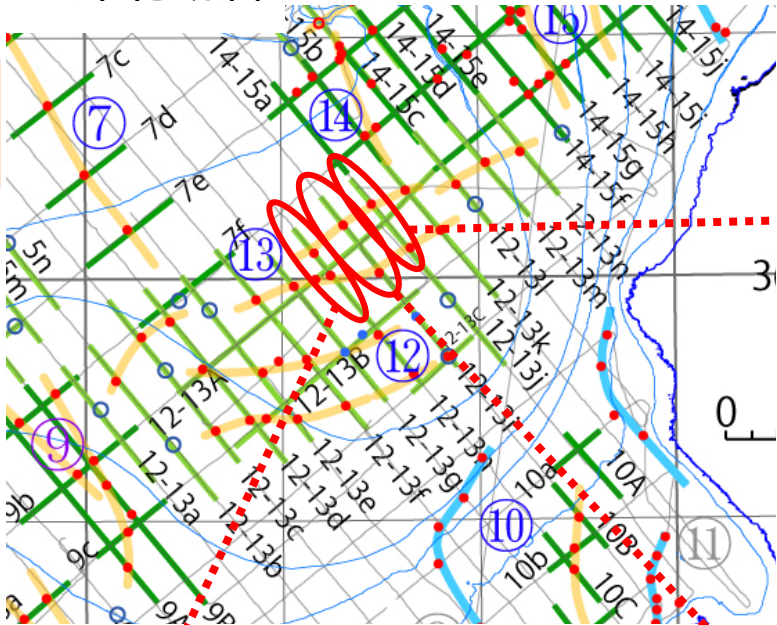
- これらの断層を含め全ての断層について、最終的には、次回以降、周辺の応力場を踏まえ再検討し決定する。

3. 評価対象断層の垂直変位量の読み取り結果

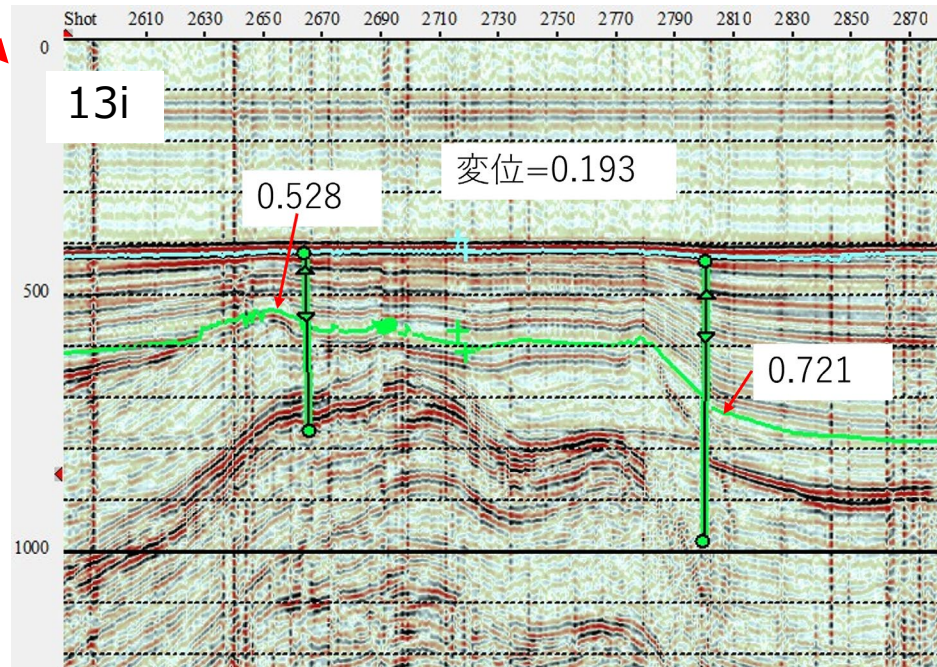
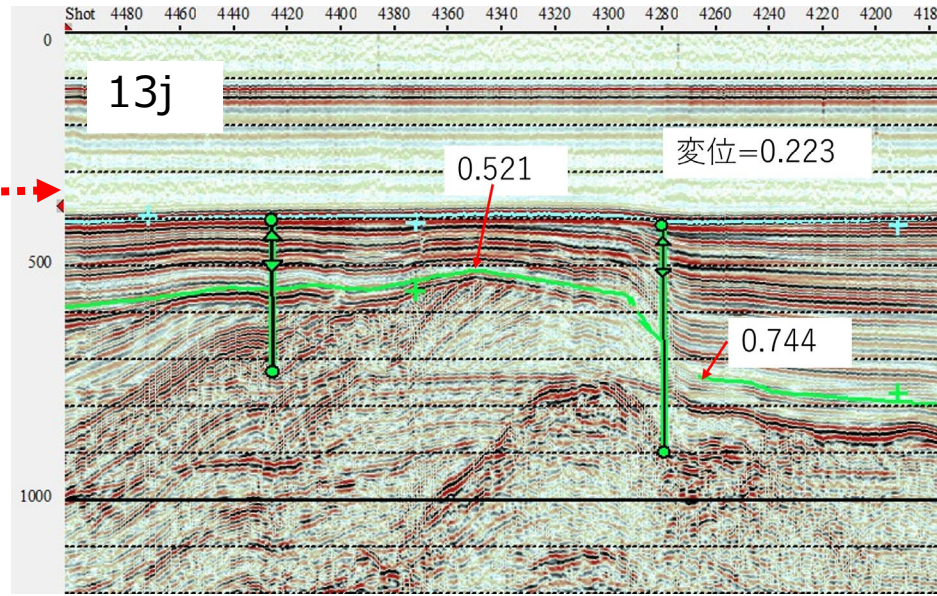
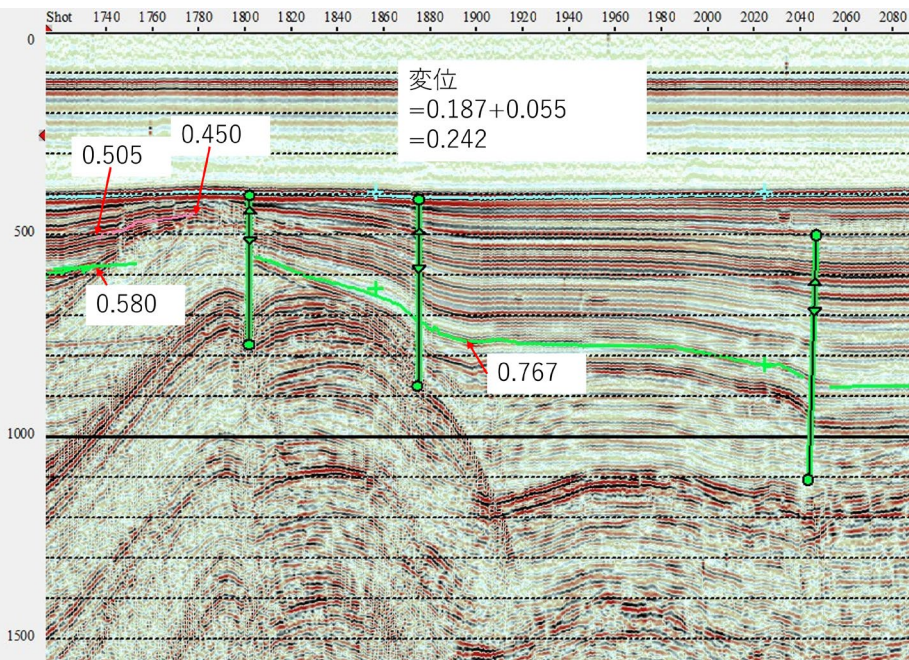
- 前回までに審議した評価対象断層について、審議で決定した断面を用いて垂直変位量の読み取りを行った。
- 読み取り結果についてご審議いただきたい。
- ⑬越前岬西方沖北
- ⑱加佐ノ岬沖

⑬越前岬西方沖北断層

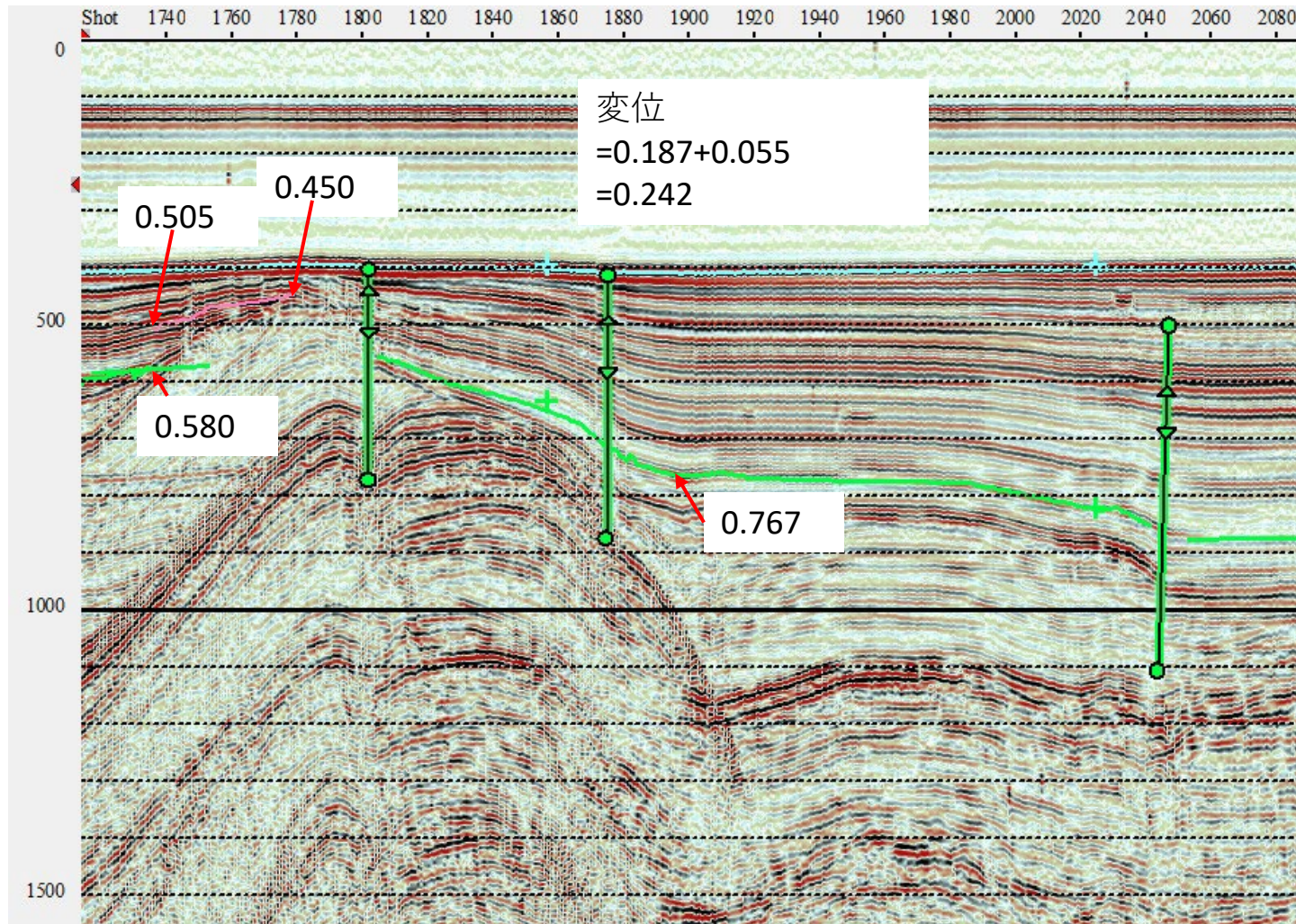
垂直変位量
 ≈ 0.24 (s)



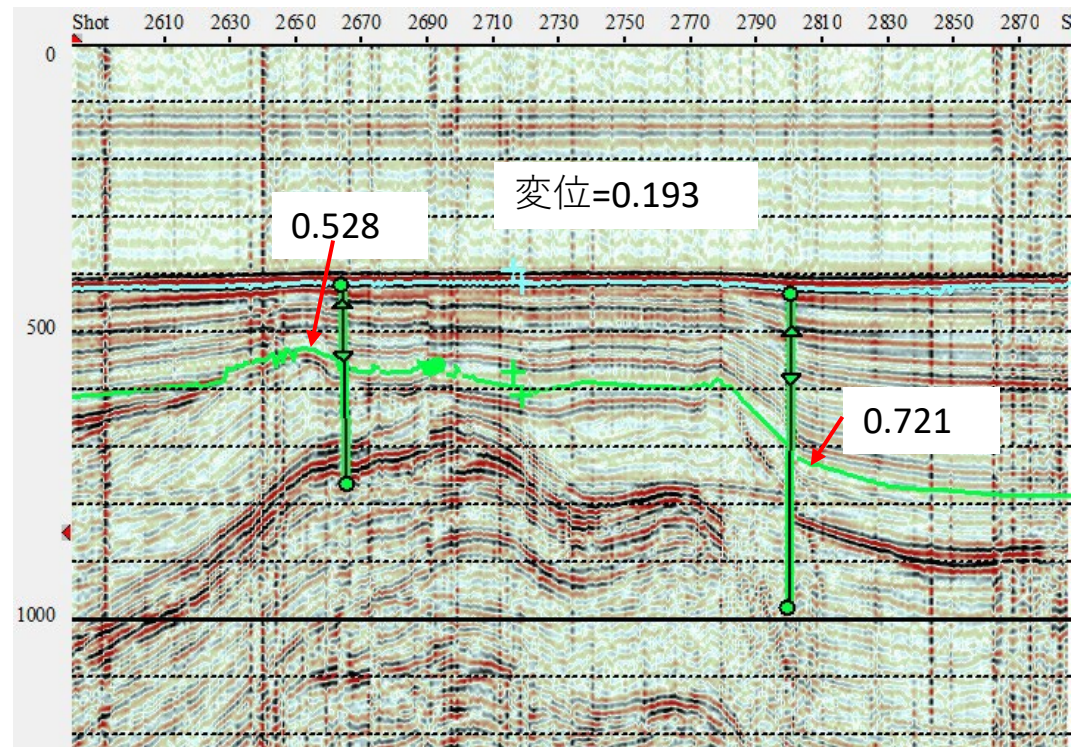
13h



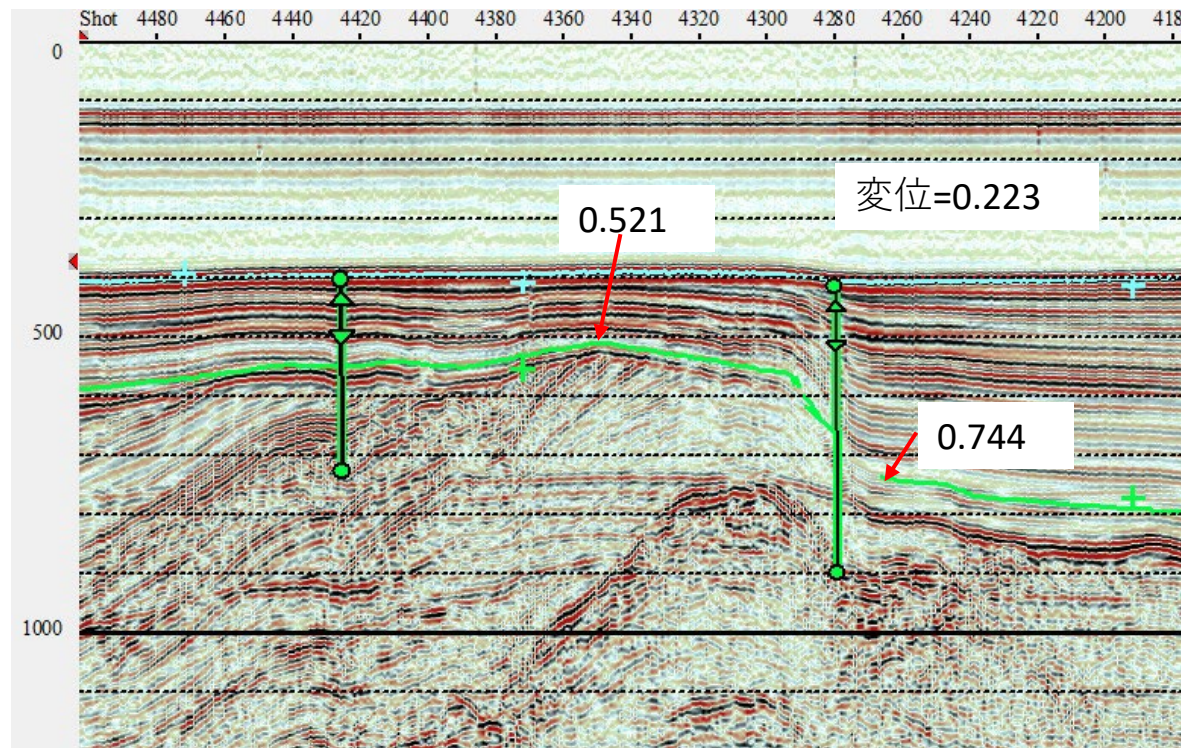
13h



13i

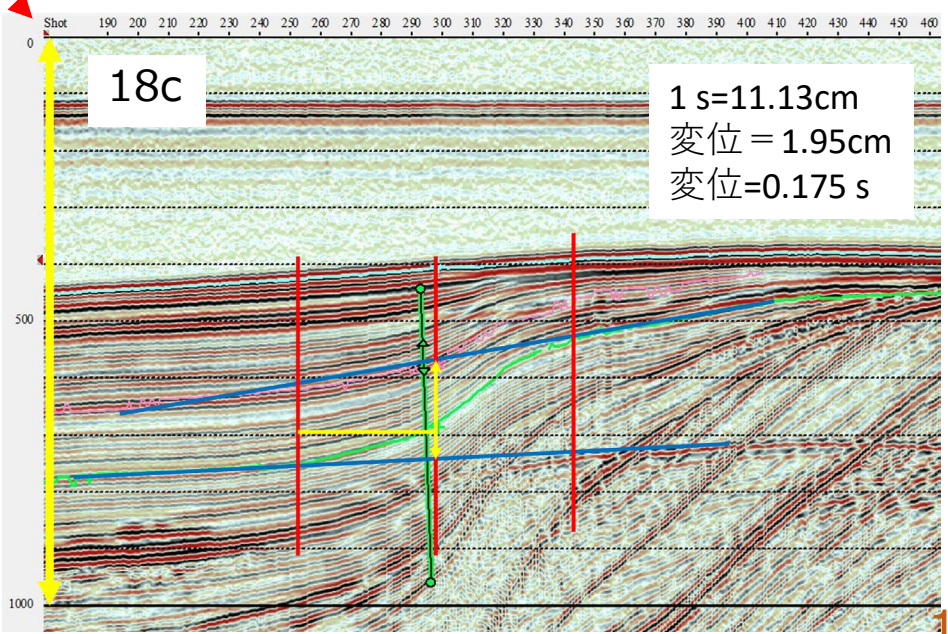
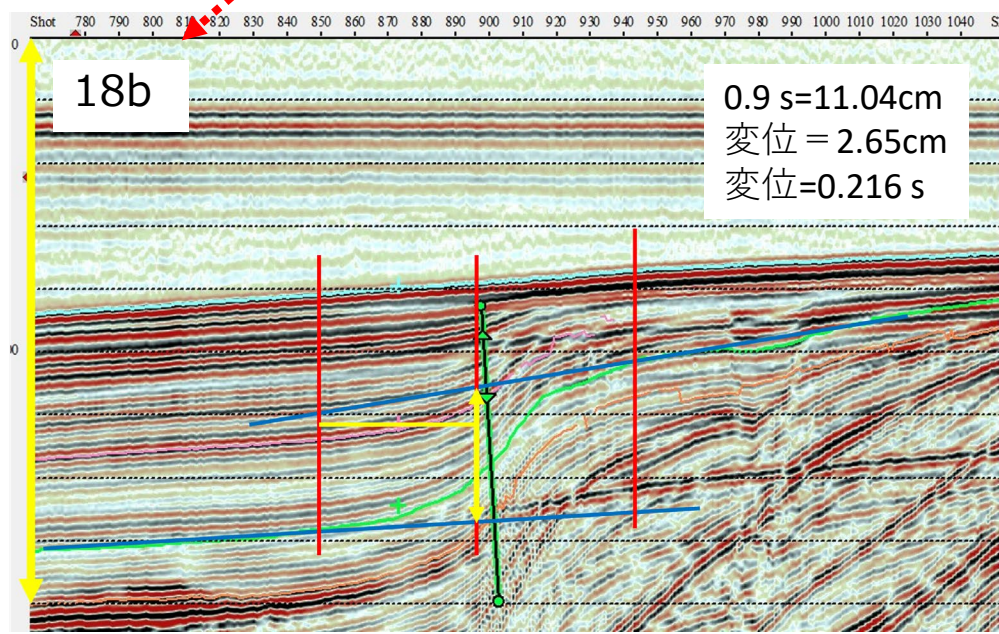
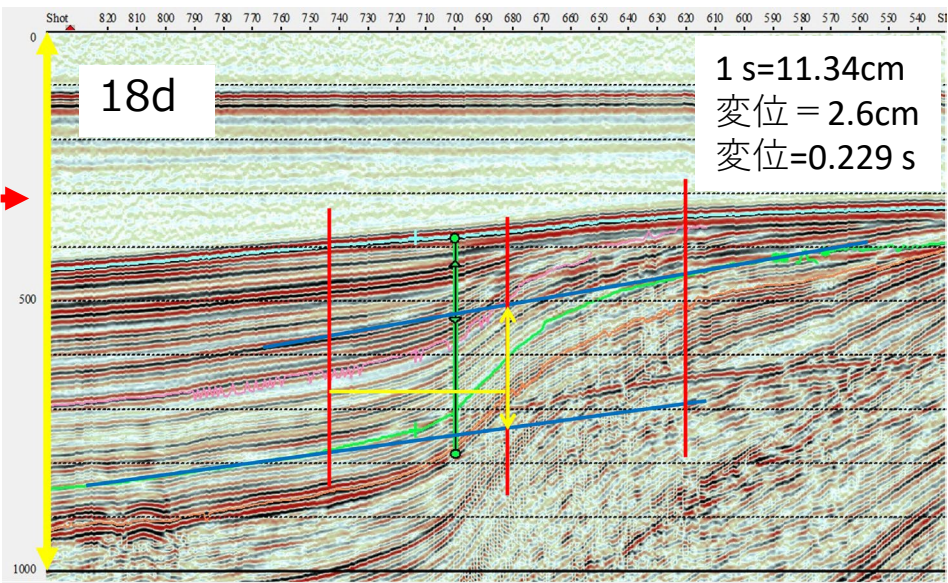
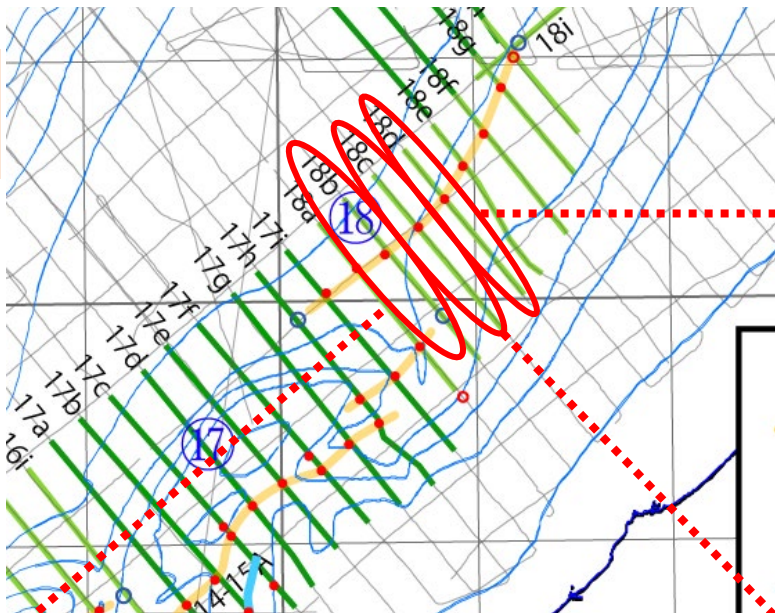


13j



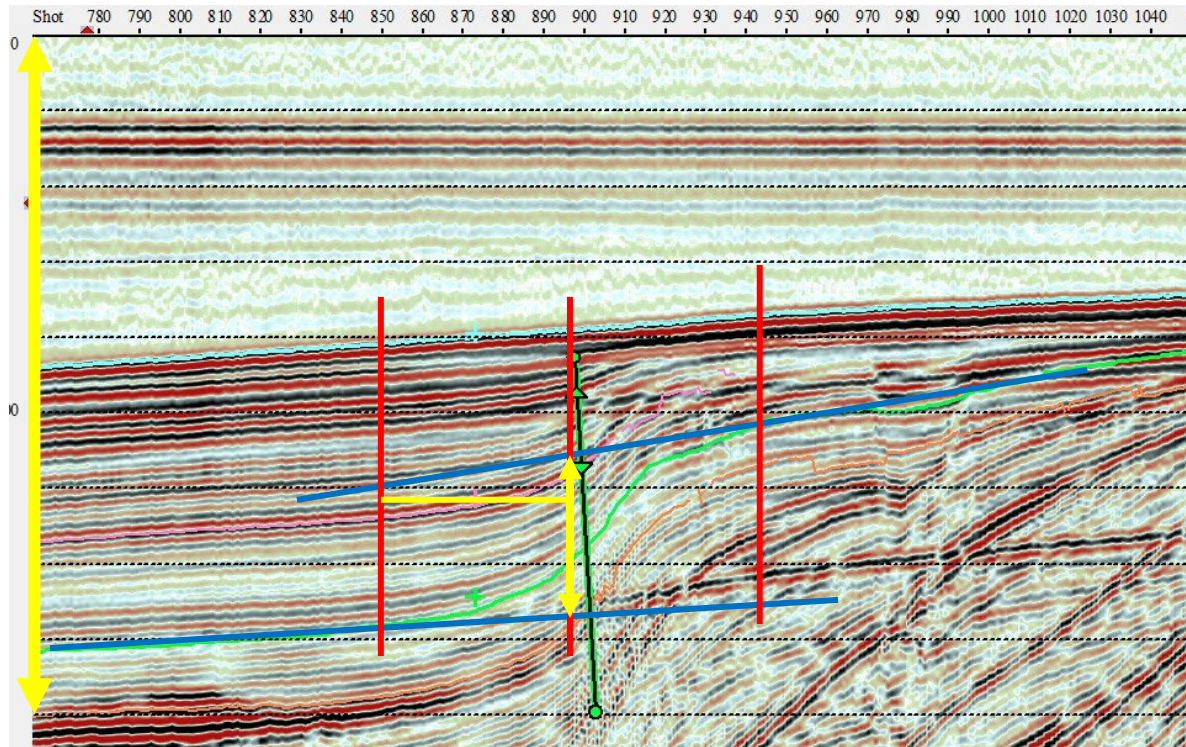
⑱加佐ノ岬沖断層（中央を読んだ場合）

垂直変位量
≒0.23 (s)



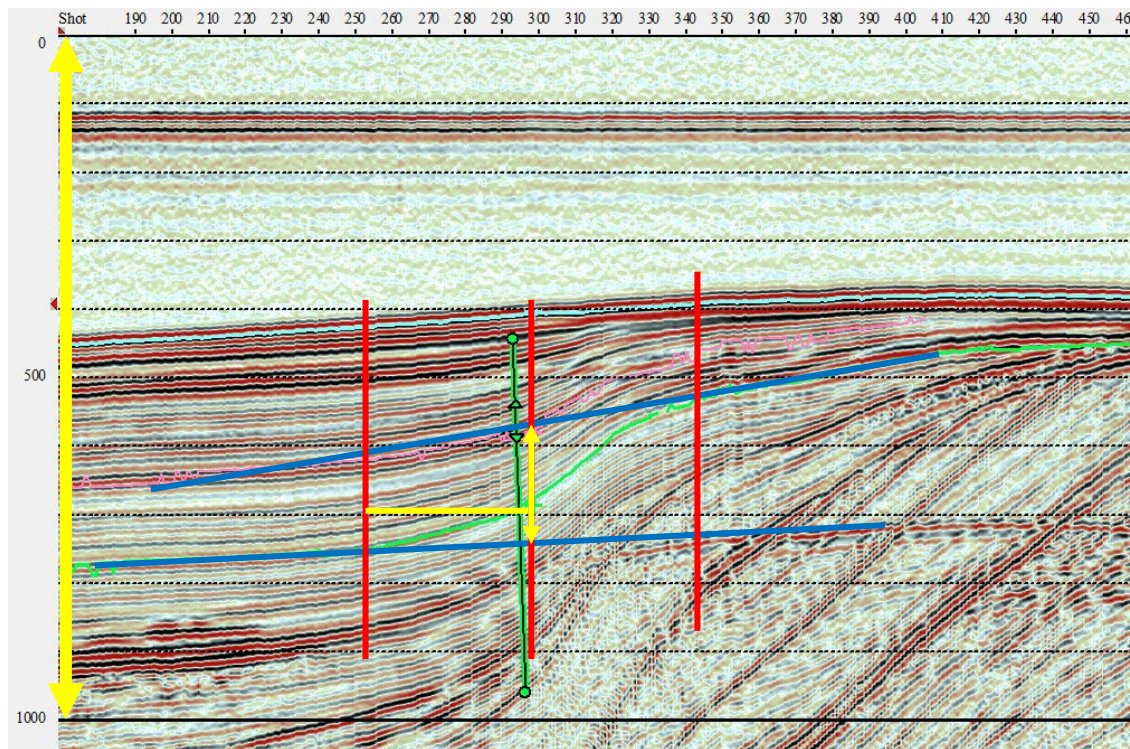
18b (中央を読んだ場合)

0.9 s=11.04cm
変位 = 2.65cm
変位=0.216 s



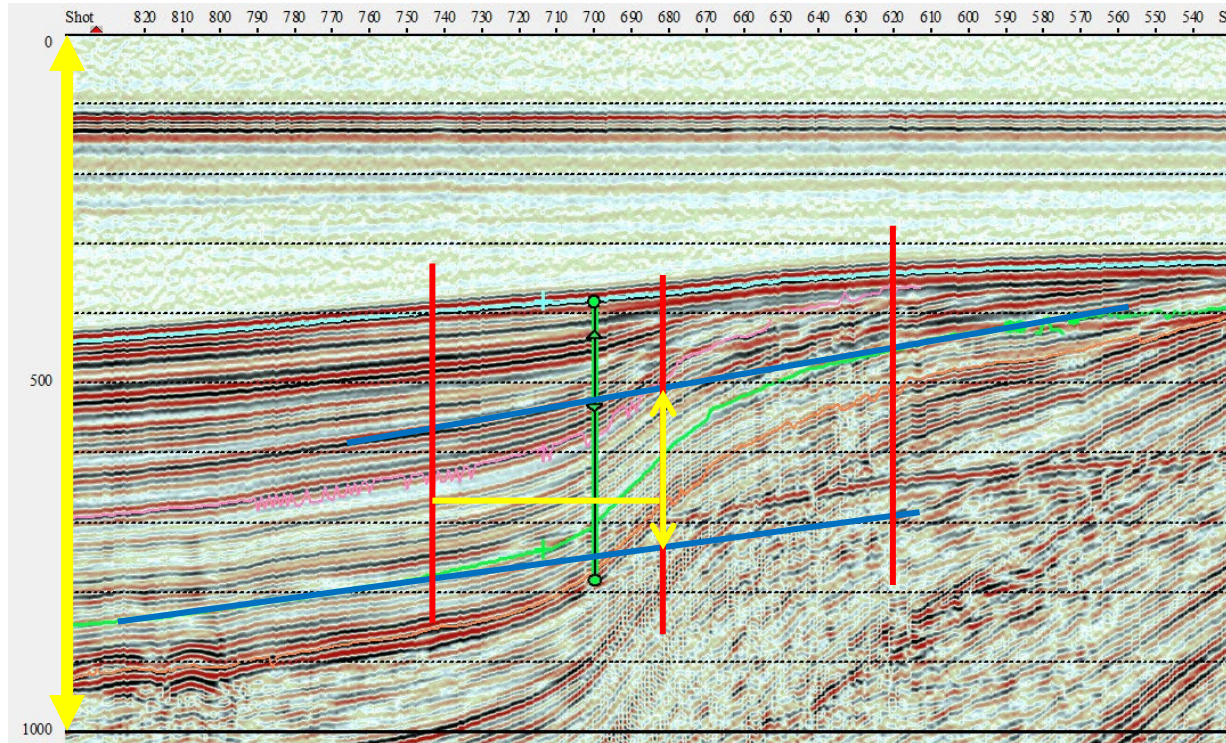
18c (中央を読んだ場合)

1 s=11.13cm
変位 = 1.95cm
変位=0.175 s



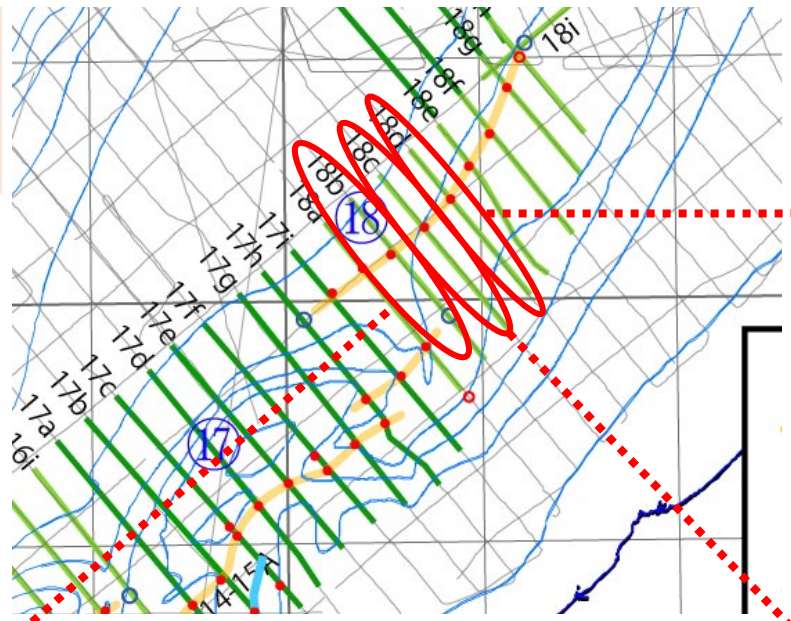
18d (中央を読んだ場合)

1 s=11.34cm
変位 = 2.6cm
変位=0.229 s



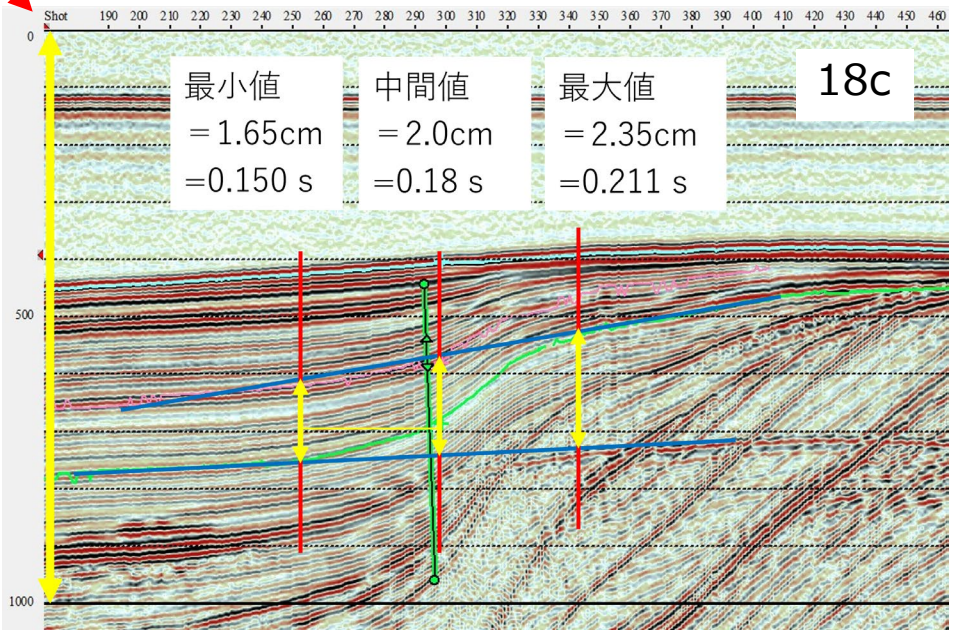
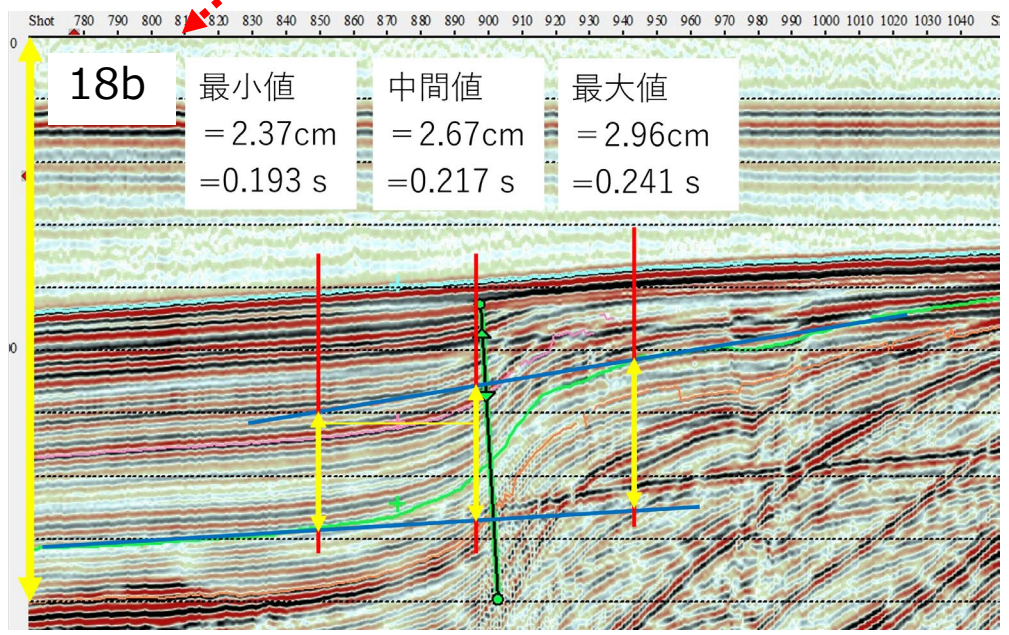
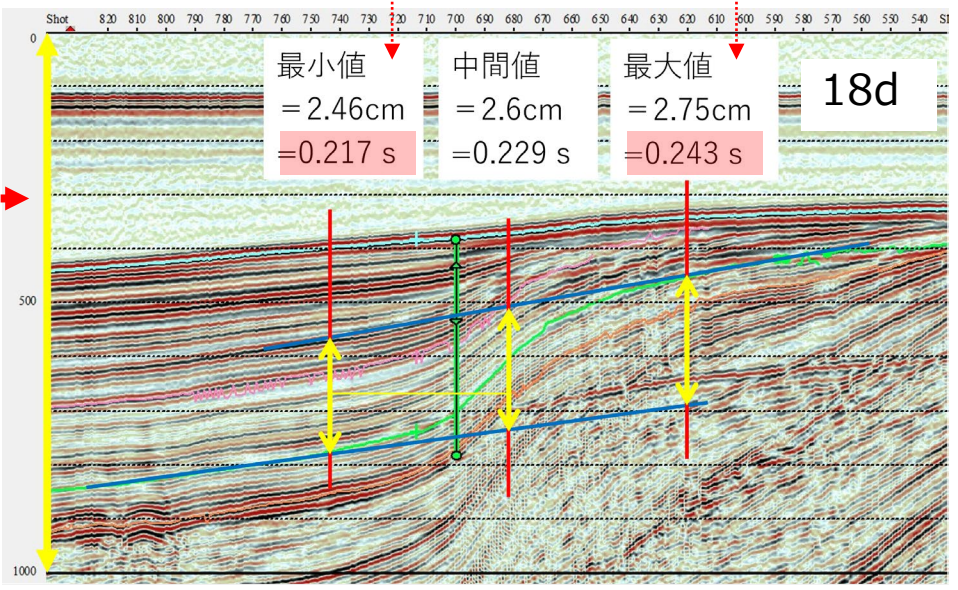
⑮加佐ノ岬沖断層（最大値と最小値を読んだ場合）

垂直変位量
≒0.22
～0.24(s)



最小値のうち最大の値

最大値のうち最大の値



18b (最大値と最小値を読んだ場合)

0.9 s=11.04cm

変位量

最大値 = 2.96cm

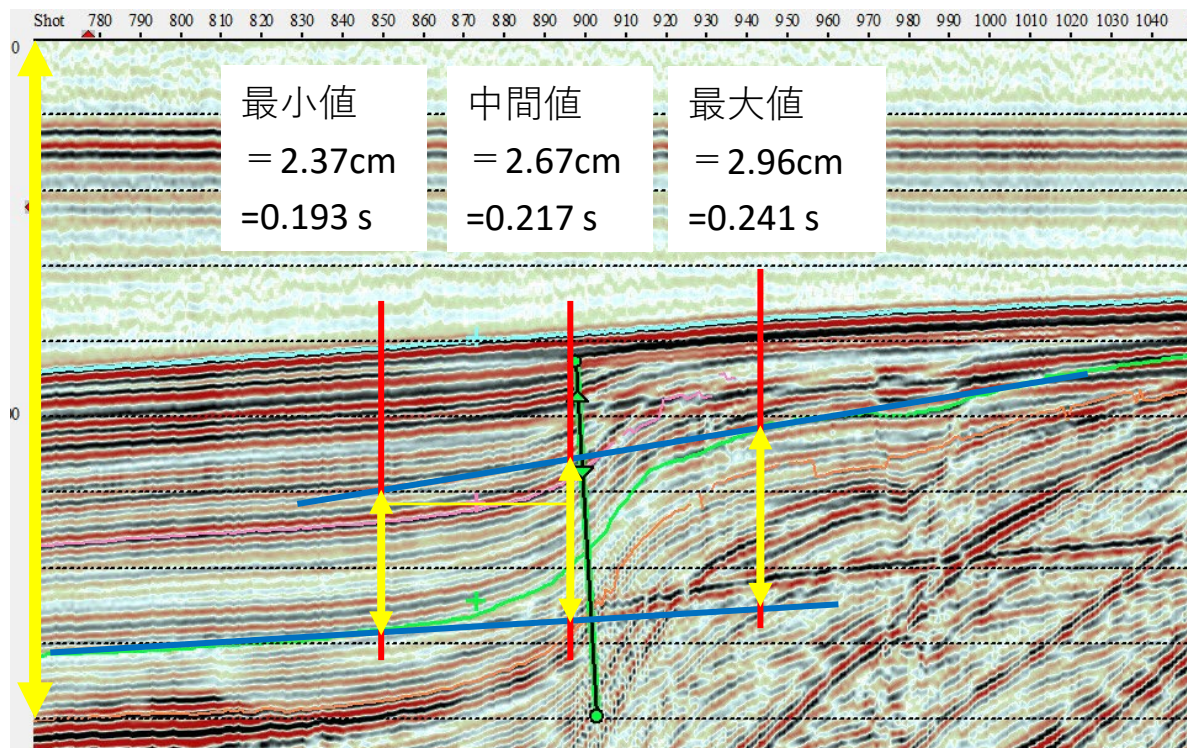
=0.241 s

中間値 = 2.67cm

=0.217 s

最小値 = 2.37cm

=0.193 s



18c (最大値と最小値を読んだ場合)

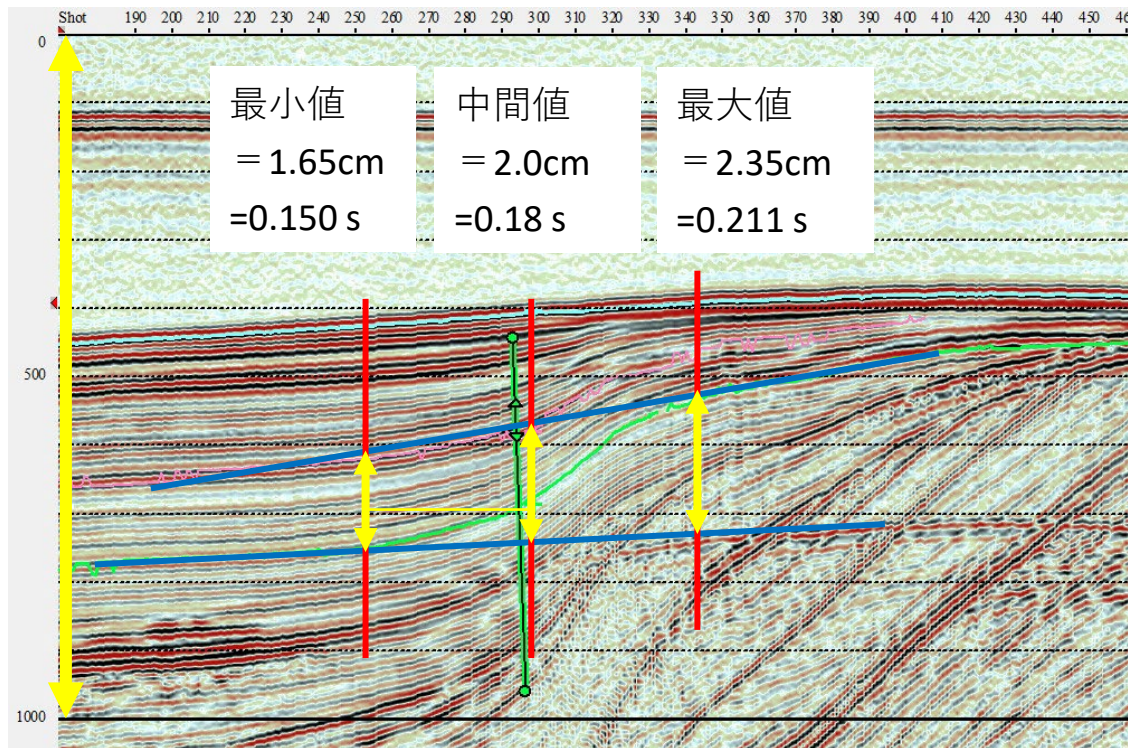
1 s=11.13cm

変位量

最大値 = 2.35cm
=0.211 s

中間値 = 2.0cm
=0.18 s

最小値 = 1.65cm
=0.150 s



18d (最大値と最小値を読んだ場合)

1 s=11.34cm

変位量
最大値 = 2.75cm
=0.243 s

中間値 = 2.6cm
=0.229 s

最小値 = 2.46cm
=0.217 s

